

阿蘇に集う青年農業者

◀ 各地方の青年農業者クラブ活動の実績発表と研究討議



◀ 自然の中での分科会（課題別研究討議）

「第18回熊本県青年農業者会議」が1月25日から3日間阿蘇郡一の宮町の国立阿蘇青年の家で開かれた。

この会議は、地域農業の中核的な担い手として、農業や農家生活の改善に取り組んでいる青年農業者たちが、お互いの学習成果の交換発表や当面する農業問題について研究討議を深めようというもの。

今回は、県下各地から500人が参加した。

第1日目は開会式の後、「若人の主張」があり、就農1・2年目の若い自営農業者が農業へ取り組む姿勢や将来への不安感などの体験発表を行った。

2日目は各部門別の代表者が一年間のプロジェクト学習成果を発表。午後からは各分科会に分かれ、それぞれのテーマ（農協、農業経営、消費者問題）で各界の助言者を交え研究討議があった。

最終日は「地域における青年農業者の役割」のテーマで全体会が開かれ、今後1年間の重要活動課題として、農産物の消費拡大運動の推進によって組織強化を図ることなどを決議した。

